

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表

| No. | 審査会合 実施日 | 指摘事項 | 回答状況 | 資料No. | 頁 | 回答内容 |
|-----|-------------|---|-------|--------------------------|---|--|
| 1 | 2017/2/21 | 荒浜側防潮堤を自主としたことによる重大事故等対策設備への影響を詳細かつ丁寧に説明すること。 | 本日回答 | 資料1-2 | 一式 | 荒浜側防潮堤、免震重要棟ほかを自主としたことによる影響について、通信連絡設備及び監視測定設備に関する変更点について説明致します。 アクセスルート・保管場所関連の変更については淡水貯水池からの送水手段の変更(No.8)の説明と合わせて説明致します。 |
| 2 | 2017/2/21 | 放射能観測車の機能(ダスト・よう素サンプラ、GM計数装置、よう素測定装置)を代替できる重大事故等対策設備をそれぞれ説明すること。 | 本日回答 | 資料1-3 | 3.17-1～25 | 放射能観測車の機能を代替する重大事故等対策設備について説明致します。 |
| 3 | 説明事項 | 残留熱除去系(低圧注水モード)におけるISLOCA発生時の漏えい評価の結果について | 本日も説明 | 資料1-5 | 添1.5.1-9～10 添2.7.1-26～37 | 残留熱除去系(低圧注水モード)におけるISLOCA発生時の漏えい評価の結果について説明致します。 |
| 4 | 説明事項 | ブローアウトパネルの重大事故等対策設備化について | 本日も説明 | 資料1-7 | 一式 | 重大事故等時にブローアウトパネルに期待する機能及び設計条件について説明致します。 |
| 5 | 2017/2/21 | 非常用ガス処理系の運転の成立性について、水素発生量、爆発規模、手順等を含めて説明すること。 | 本日回答 | 資料1-8 | 一式 | 非常用ガス処理系の運転の成立性について説明致します。 |
| 6 | 2017/2/21 | 被ばく線量評価のうち、ベントによるものと原子炉格納容器からのリークによるもの、それぞれの程度寄与するの別途説明すること。 | 本日回答 | 資料1-6 | 48-3 参1-添7-1 | 両号炉にて代替循環冷却系を用いて事象収束に成功するケース、片号炉にて格納容器ベントを実施するケース、両号炉にて格納容器ベントを実施するケースについて説明致します。 |
| 7 | 2017/2/21 | 格納容器除染係数及び建屋換気率の変更に係る、被ばく評価、作業の成立性、遮蔽について再度説明すること。 | 本日回答 | 資料1-6 | 48-7 | 各作業における作業環境の評価結果について説明致します。 |
| 8 | 説明事項 | 淡水貯水池からの送水手段について | 本日も説明 | 資料1-4 資料1-9 資料1-10 | 共4-1～共4-25 一式 79～83, 356, 468,469 | 淡水貯水池からの送水の変更及び成立性について説明致します。 あわせて、可搬型重大事故等対策設備の台数の変更について説明致します。 |
| 9 | 2017/3/23 | SRV のパッキンであるフッ素ゴムと改良EPDMを比較し説明すること | 本日回答 | 資料1-6 | 47-22 | 改良EPDMシール材の試験結果と従来のフッ素ゴムの試験結果を比較し、シール性能健全性について説明致します。 |
| 10 | 2017/3/23 | 溶融炉心ファンネル流入後のドレン配管における管壁の浸食量評価について、保守性を定量的に説明すること | 本日回答 | 資料1-6 | 40-40 | 管壁の浸食量評価において見込んでいる定量的な保守性を含む各種保守性についてご説明致します。 |
| 11 | 2017/3/23 | 解析結果を補足するように、模擬溶融炉心の試験結果を説明すること | 本日回答 | 資料1-6 | 40-12,23 | コリウムシールドの設計について、新たに追加した試験データも踏まえてご説明致します。 |
| 12 | 2015/9/29 | 事故事象の組み合わせに対する対応について、事故シーケンスの組み合わせを示し、待避室に留まる要員で対応可能であることを説明すること。 | 本日回答 | 資料1-4 | 59-10-3-1～21 | 6号炉と7号炉の発生事象の組み合わせ、事象進展の違いと対応に必要な運転員数を整理し、中央制御室待避室の設計で想定している収容人数20名の範囲での対応が可能であることを説明いたします。 |